

こんにちは!!
市長です Vol.34

「戦後75年」

中止になり大変残念でした。代わりに自宅の近くにある忠霊塔に行き、参拝をしました。私のおじ2人も戦死して、ここにまつられています。

私の親の世代は、戦争のまったただで青春時代を過ごしました。戦後生まれの私は、父親から戦地での写真を見せられ、話を聞かされました。父親は、酒に酔うと涙を浮かべて軍歌を歌いました。母親からも軍需工場で働いていたことや、空襲警報のサイレンが鳴って逃げたことなどを聞かされました。子ども心に両親の悲しい表情が感じられました。時の経過とともに、戦争経験者は高齢化し、少なくなってきました。

「過去に目を閉ざす者は、現在にも盲目になる」とは、ヴァイツェッカー・元ドイツ連邦共和国大統領の演説の一節です。私たちが、今、やらなければならぬことは、平和な社会をつくるために、戦争の歴史を風化させることなく、後世に引き継いでいくことです。

昭和27年8月6日に設立された広島平和都市記念碑には、次の言葉が刻まれています。

「安らかに眠ってください
過ちは繰返しませぬから」

参拝を終え、改めてこの誓いの言葉を深く胸に刻みました。

8月15日は、先の大戦から75回目の終戦記念日でした。今年も、毎年行われている県の戦没者追悼式が、新型コロナウイルス感染症の影響で中止となっていました。これまで、追悼式には毎年参加していましたので、初めて



▶終戦記念日に忠霊塔を参拝